



2024年2月16日 堅信式

「回心して、福音を信じなさい。」

フライデルフィ・パヴォール 主任司祭

「回心して、福音を信じなさい。」この言葉は、神の国の到来を告げ知らせたキリストの言葉であり、四旬節の始まりである灰の水曜日に私たちの耳にも響いた言葉なのです。しかし、自分自身に回心などが必要でしょうか？自分自身も、ほかの兄弟姉妹もちゃんと祈ったり、活動したり、御ミサに参加したりする信者ではないでしょうか？四旬節は、節制と回心への呼びかけに込め、自分の生活を振り返り、神に従う決心を改める時期です。忘れたことがあっても改めて、祈りと聖書の言葉を私たちの日々の生活の中心とし、節制と回心式に参加することを通して自分の成長を目指したいと思います。このように「回心して、福音を信じなさい。」とは決まり文句ではなく、応えるべき呼びかけなのです。神様への愛、また自分自身の価値を見出しながら隣人への愛で私たちが成長していくことを神様は望んでおられるのです。四旬節には灰の水曜日と聖金曜日に守るべき大齋と各金曜日に勧められる小齋があります。特に大齋は十八歳から六十歳になるまでの方はまもるべき断食ですが、せひ、断食と節制は小さい子供や高齢になっても自分の力に依じて務めると良いと思います。現代の傷ついた世界には、私たちの祈り・神様に捧げる小さな犠牲が特に必要ではないかと思えます。四旬節には「あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によつて塩味をつけられよう。」というキリストの言葉を思い起こしましょう。四旬節は、祈りと節制、慈善の業を通して、信仰の良い味を守っていく時期だと思います。

それでは、これから始まる四旬節が皆様お一人おひとりにとって、神の恵みに溢れる時期となり、その実りを見出すことができますように！

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
 第4土曜日 午前10時30分 子供のミサ(ナザレ館)
 火曜日 午後7時
 金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
 ゆるしの秘跡は各主日ミサ前に受けることができます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、4時 聖体礼拝)
 日曜日 午前8時・10時・午後6時
 Sunday Mass in English 9:30 am
 (in the Marian Hall)
 ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

堅信おめでとうございます！

2月16日

	堅信名	受堅者名	代父母名
1	Mary	<small>メイレン カマチョ</small> Maelen Camacho	Katelyn Newman
2	Monica	<small>メリナ カマチョ</small> Mileena Camacho	Laura Bayless
3	ノア	ボーベフ・ジェシカ	瀧 リンダ
4	幼きイエズスの レジア	<small>さとだ えみか</small> 里田 笑花	梅村 祥子
5	ローザ・ラファエラ	<small>いとが ゆきこ</small> 糸賀 由貴子	アンナ・マリア
6	Paul Miki	<small>ショーン サマーズ ニール</small> Shawn Somers Neal	イアン ヴィンセント Ian Vincent
7	レイチェル	<small>みほ</small> ボーベフ・己普	瀧 リンダ
8	エリザベト	<small>いちむら きょうこ</small> 市村 京子	糸井川 美恵子
9	ベルナルド・ヨセフ	<small>しみず たく</small> 清水 拓	川原 稔
10	ヨゼフ	グエン フン トラン	TRAN THANH TRONG
11	マグダラのマリア	<small>あさい こ</small> 浅井 とし子	伊澤 美由紀
12	フランシスカ	<small>ひとつうじ なおみ</small> 一ツ氏 直美	大貫 るみ子
13	幼きイエズスの レジア	<small>とみた まり</small> 富田 麻里	梅村 恵子

堅信の秘跡をうけて

ローザ・ラファエラ糸賀由貴子
主の平和。この度、堅信の秘跡
を授かりました。松浦司教様は
じめお力添えを頂きました南山
教会の皆様、ありがとうございます
ました。

洗礼を受けるまでの1年間や洗
礼式のことを思い出しました。
今回は今一度、気持ちを改める
大事な機会でした。もう二度と
こういう式は無いんだと思
い、この初心を忘れないため
に、洗礼式・堅信式それぞれの
証明書と写真を額に入れ、いつ
でも見える位置に飾りました。
そして、ここまでご縁を導いて
くださった南山のレジエンドS
様にも堅信のご報告を申し上げ、
とでも喜んで下さいました。
イエス様と共に彼女のよう
な素敵な年の重ね方ができるよ
うになりたいと思います。

マグダラのマリア

TOSHIKO ASAI

：サントボームの山に向けて

堅信にあたる7つの払い

人生において大きな光が動く
時、闇の感情も引っ張って来る
ことを学びました悲しみ、怒り、
様々な欲望、狂気、恐怖、傲

慢、嫉妬

・祈りに触れて光の圧倒的な強さをかんじました

心の穏やかさがコンパスとなり澄み切ったコバルトブルーの空を見ました。

人生の指針

ナザレのイエス様の復活は神様だからできた秘跡です

私達の生活に例えると日々のかかりあいの中で光を見つけた事(助けあい、分かち合う一体感、optimism)が人生の地図に灯りが灯り方向性に繋がります

世界平和を導く日々のOptimismな感情が未来に方向性を見出す光読みは

私の活動でもあります□I am reading the light with my optimism activity.

.....道は現れます
..... We can find our

road with our pray.
祈りが光になり航海へ

~~~~~  
S we are one.

..... The saint appear on your Life everywhere.

..... The Light Shines in the Darkness.

悟朗司教様 パウロ司教様、司祭様々いろいろ教えていただき

ありがとうございます  
精進して頑張ります。

### 信徒協50周年記念感謝ミサと 能登半島チャリティ音楽祭

日時 場所…2025年

2月15日(土) 13時〜16時

布池カテドラル

信徒協50周年記念感謝ミサ

司式・松浦司教、平田同伴司祭、寺尾膳棚教会主任司祭、モルク岡崎教会主任司祭

早川助祭、侍者(新内さん、森本さん、...)

能登半島チャリティ音楽祭

挨拶 徒協会長

能登半島の被災状況の報告

大橋佐季さん(教区青年会)

・テゼの祈りと黙想 秋元さん

のそのグループ(南山教会、瀬戸教会)

・聖歌隊による合唱

南山教会聖歌隊20名

・歌唱同好会による合唱

「コラーレ・シャローム」樹

の会

・演奏とショードドラマ

岡崎教会フイリピングループ

・歌とパイプオルガンの演奏

早川志づ江さん(布池教会才

ルガニスト) 木崎美和さん(二期会)・参加者皆さんで合唱  
石丸由佳さんと信徒協役員

[https://youtu.be/dZ-Xh97k\\_Z8](https://youtu.be/dZ-Xh97k_Z8)

・参加活動団体

AJU マック 半田教会 日本

看護協会名古屋支部 樹の会

参加者と能登半島への献金

200名約30万円全額を

能登半島被災地へ献金

好評と閉会

平田同伴司祭 信徒協顧問

全員で写真撮影

布池教会聖年の扉を開いて外

で撮影(ミサ終了時に実施)

名古屋教区信徒協HPにて動

画をご覧になれます



### 巡礼記(1月)

大川 隆

### ○東京大司教区

高輪教会

(1月1日)

元日、神の母聖マリアの祭日のミサに与りました。ミサ曲が歌ったことのない610番台でした。ミサの終わりに神父様が、「この教会に初めて来られた方、いらっしやいますか?」と問うので挙手したところ、皆さんから拍手をいただき驚きました。この一年が平和で良い年になりますように。

JUBILEE 2025 - TOKYO GUIDE  
JUBILEO 2025 - GUÍA DE TOKIO

JUBILÉ 2025 - GUIDE DE TOKYO  
JUBILEE 2025 - HƯỚNG DẪN TOKYO

TAKANAWA CHURCH QUEEN OF MARTYRS  
4-7-1 Takanawa, Minato-ku, Tokyo

カトリック高輪教会  
Takanawa Catholic Church

TSUKUJI CHURCH ST. JOSEPH  
5-26 Akashicho, Chuo-ku, Tokyo

# 聖信の秘跡についてのワンポイント

川原稔

■はじめに

聖信の秘跡(けんしんのひせき)は、カトリック教会の七つの秘跡のうちの一つであり、信者に聖霊の恵みを与える重要な儀式です。

これは、洗礼を受けた後に受けることが多く、信仰の深まりと教会共同体への完全な一員としての参加を意味します。聖信は、信者が神から与えられた恵みをさらに強め、神との絆を深める大切な時であることを教会は教えています。

■聖信の意味

聖信は、神からの贈り物である聖霊を受け取ることを目的としています。聖霊は、信者に力を与え、神の意思を理解し、正しい道を選ぶ助けとなります。聖信によって、信者は神の使徒としての使命を受け、教会の活動に積極的に関わるのが期待されます。この秘跡は、単なる儀式ではなく、信仰の生活をさらに深めるための神聖な出来事です。

■聖信の準備

聖信を受ける前に、信者は一定の準備を行います。この準備は、信仰について深く考え、自己の信仰を見つめ直す時間を持つことが含まれます。また、聖信を受ける者は、洗礼を受けた時点から既に神

の子であり、聖信によってさらに神の恵みを受け取ることになりません。カトリック教会では、聖信を受ける者には年齢制限があり、多くの教区では、通常12歳以上の信者が対象とされています。

■聖霊の働き

聖信の中で重要な役割を果たすのが聖霊です。聖霊は、イエス・キリストが弟子たちに送った神の霊であり、信者の内面に働きかけて神の愛を深く実感させます。聖霊は、信者が神の意志に従い、信仰の道を進むための力を与えます。

また、聖霊は信者を教会の一員として結びつけ、神の国の実現に貢献する力を与えます。聖信を受けることによって、信者はその聖霊をより強く感じ、神との絆が深まります。

■聖信の儀式

聖信の儀式は、通常、司祭または司教によって行われます。儀式の中で、信者は聖霊の油を額に塗られ、信仰の決意を新たにします。この油は「聖油」と呼ばれ、神からの力を象徴しています。聖油を塗る行為は、信者が聖霊によって強められ、神の使徒として歩むことを意味します。さらに、聖信の儀式では、信者は「信仰告白」を行い、再び信仰の基本的な教えを確認します。

この油は「聖油」と呼ばれ、神からの力を象徴しています。聖油を塗る行為は、信者が聖霊によって強められ、神の使徒として歩むことを意味します。さらに、聖信の儀式では、信者は「信仰告白」を行い、再び信仰の基本的な教えを確認します。

■聖信の恵み

聖信を受けることで、信者には大きな恵みが与えられます。聖信を通して、信者は聖霊によって強化され、信仰生活をより深く実践する力を得ます。聖信を受けることで、信者は神の使徒としての役割を自覚し、教会内で他の信者と協力して神の国を築くことに貢献します。この恵みは、個人の信仰生活のみならず、共同体全体の成長にも寄与します。

■信者としての成長

聖信を受けた信者は、単に教会の一員としての義務を果たすのではなく、神から与えられた使命を生きたる者として成長します。聖信によって、信者は神の愛と真理をより深く知り、日常生活でその教えを実践するようになります。この成長は、内面的な変化をもたらすに、信者が日々の生活の中で聖霊に導かれながら歩む力を与えます。

■まとめ

聖信の秘跡は、信者にとって信仰の一大転機となる重要な出来事です。聖霊の恵みによって強められ、神の意思を実現するために生きる力を得ることが出来ます。カトリック教会では、この秘跡が信者に与える恩恵を重視し、信仰生活をさらに豊かにするための手助

けとして大切にされています。聖信を通じて、信者は神との深いつながりを感じ、教会共同体の一員として成長していきます。

★代父と代母の役割

聖信の秘跡における代父と代母の役割は、信者の信仰生活において重要な支援者としての役割を担うことです。聖信を受ける者が信仰の力を深め、成長するために必要な精神的なサポートを提供します。代父と代母は、聖信を受ける者がキリスト教の教義を理解し、実践するために導く責任があります。

具体的には、信者が信仰を守り続けることができるよう、励まし、祈り、時には助言を与えることが求められます。また、代父と代母は信者が教会の一員としての責任を果たすよう、共に歩み、成長を支援する役割も果たします。

彼らは、聖信を受ける者にとって霊的な手本となり、教会の中での結びつきを強める大切な存在です。

ワンポイントひらめき□秋元恭子  
四旬節が始まりました。夫が分かち合ってくれた、心に響いたように思った神様からの語りかけを分かち合います。四旬節をよりよく過ごす助けになりますよう、願いを込めて、悔い改めること、回心を祈ります。自分が必要以上にお

としめたり、卑しめたりすることではない。自分のありのままを受け取ることも、受け入れることだ。自分の弱さも、勇気のなさも、罪に傾く傾向も、なかなか捨てられない怒りも、人への怨みも、許すことができない苦い思いもすべて受け取って、そしてわたしに差し出すべきだ。そうするとあなたたちの内には偽りはなく、あなたたちはもうそれを隠す必要がなくなるとを証しする者と変えられていくのだ。」\*わたし↓主なる神様\*あなたたち↓信徒たち

「それはあなたたちを咎めるためではなく、罪に定めるためでもない。ただ愛してやまないから。わたしは愛する者の全てを知っている。そのことをいつも思い起こしなさい。そして私の元に立ち帰るとき、あなたたちはわたしによつて栄光の衣を与えられ、それをわたしに着せるのだ、ということをいつもあなたたちの希望として心に留めなさい。わたしはあなたたち一人ひとりにこの栄光の衣を用意しているのだ。だから罪が聖霊によつて明らかにされても、恐れたり、落胆したりせず、ただわたしを仰ぎ見なさい。その罪をわたしに差し出せば、わたしはそれを赦して、そして後ろに放り投げる、もう見ることもないよ

### 典礼一口メモ 香部屋の窓から 第79回 「教会芸術と教会用具」のお話1回目

典礼委員長 新内飛鳥

わたしは愛する者の全てを知っている。そのことをいつも思い起こしなさい。そして私の元に立ち帰るとき、あなたたちはわたしによつて栄光の衣を与えられ、それをわたしに着せるのだ、ということをいつもあなたたちの希望として心に留めなさい。わたしはあなたたち一人ひとりにこの栄光の衣を用意しているのだ。だから罪が聖霊によつて明らかにされても、恐れたり、落胆したりせず、ただわたしを仰ぎ見なさい。その罪をわたしに差し出せば、わたしはそれを赦して、そして後ろに放り投げる、もう見ることもないよ

### 教会芸術の品位

人間の才能のもつとも尊い働きのうちに、当然のこととして芸術、とくに宗教芸術とその頂点として教会芸術が数えられる。芸術はその本性から、人間の活動によつて神の無限の美を何らかの形で表現しようとするものである。その活動によつて人間の心を敬虔に神に向けるために最大限役立つことだけを指すのであれば、芸術は、神のために、そして神の賛美と栄光を高めるためにいつそう寄

与するものとなる。したがって、いづくしみ深い母なる教会は、つねに芸術の友であった。また、とりわけ礼拝に関係するものが、真にふさわしく、尊厳をもち、美しく、天のことがらのあるしるしであり象徴となるために、芸術の尊い奉仕をたえず追求し、芸術家を指導してきた。さらに、教会は、つねに当然のこととして芸術のいわば判定者であることを自認し、芸術家の作品の中で、信仰、信仰心、そして敬虔に伝えられてきた法則に合致し、聖なる用途に適しているものを識別してきた。教会は、教会用具が、礼拝の品位に相応しくかつ美しく役立つよう、とくに細心の注意を払い、時代の経過に伴って技術の進歩がもたらした素材や装飾における種々の変化を受け入れてきた。したがって、公会議教父たちは、これらのことについて以下のことを喜んで決定する。

### 芸術様式の自由

教会は、いかなる芸術様式をも自らに固有のものともみならず、諸民族の特質と諸条件、またさまざまに典礼様式の必要に従って、それぞれの時代の表現方法を認め、慎重に保存すべき芸術の宝庫を幾世紀にもわたって造り上げてきた。現在の芸術、そしてあらゆる民族と地域の芸術も、聖なる建物と聖なる儀式に正当な経緯と誉れをもつて奉仕するものであるかぎり、教会において自由な活動の場を持つべきである。こうして、これらの芸術は、偉大な人々が過去の数世紀にわたってカトリックの信仰を歌ってきたあの驚くべき栄光の賛歌に、自らの声を合わせることでできるのである。

裁判権者は、真の教会芸術を促進し、擁護して、単なる豪華さよりも、むしろ高貴な美を目指すように配慮しなければならない。このことは、祭服や装備品についても当てはまる。司教は、信仰や道徳やキリスト教の信仰心と相いれない芸術作品、また低俗な表現形式や、芸術性の欠如、駄作、見せかけの芸術のために真の宗教的感覚を損なうような作品を、神の建物や他の聖なる場所から、努めて遠ざけるよう配慮しなければならない。また、聖なる建物の建造に当たっては、典礼行為を行うために、また、信者の行動的参加を可能にするために適したものであるように、細心の注意が払われなければならない。信者が崇敬するために聖画像を教会堂内に置く習慣は、確実に保た

れなければならぬ。しかし、キリスト信者に奇異な印象を生じさせたり疑わしい信心を認めたりすることがないように、その数を制限し、ふさわしい順に配置しなければならぬ。

芸術作品を判断するにあたっては、地区裁治権者は、教会芸術に関する教区の委員会に諮り、状況によっては、他の優れた専門家に、さらには第四十四条、第四十五条、第四十六条に言われる委員会にも諮らなければならぬ。

裁治権者は、神の家の装備品としての教会用具や価値のある作品が譲渡されたり、あるいは紛失したりすることが無いよう、注意深く監督しなければならぬ。今回のお話はこのままで、次号に続きを掲載します。

### 第11回南山小教区宣教司牧評議会

#### 始めの祈り

#### 司祭団より

主任司祭のパウロ師が異動。次は神言神学院の指導司祭です。後任は吉祥寺教会から転任されるビジュ師。今年は復活祭が遅いのでパウロ師がいらつしやるのは5月の評議会にはパウロ師もビジュ師も参

加。5月評議員会の詳しい日程は4月に決定します。

#### 報告・連絡事項

#### 1. 3・4月予定確認(信徒代表)

別紙のとおり。

各月第2週に教会周辺清掃。3月5日灰の水曜日、3月9日洗礼志願式・教会周辺清掃・11時15分から巡礼説明会(マリア館2階ホール)、3月15日・16日四旬節黙想会・共同回心式、3月20日終身助祭叙階式ヨハネ・マリア・ヴィアンネ秋元伸介氏、午後2時より、布池教会、司式 ミカエル松浦悟郎司教、4月13日枝の主日・教会周辺清掃、4月20日復活の主日。

4月からの評議員の名簿確認が行われました。4月16日司祭・修道者金銀祝の祝い。

#### 2. 教会事務・売店の営業についての再確認(信徒代表)

今後は、月曜日と火曜日を教会事務・売店の休業日とする。水曜日から土曜日の9時から17時に売店営業(ただし、12時30分から13時30分は休業。)、日曜日は9時から15時半の売店営業とする。土曜日午後と日曜日には、高橋氏(元パウロ書院)がアルバイト勤務中。

#### 3. 信徒協50周年記念感謝ミサと音楽祭について(信徒協顧問)

布池教会にて2月15日13時に感謝ミサを開催、続いて2時から音楽祭が行われました。要約筆記者の会がミサと音楽会でご奉仕。秋元夫妻がテゼの祈りを瀬戸教会の方と歌唱披露。聖歌隊20名の方が歌唱披露。歌唱披露は好評でした。信徒協委員も城東ブロック委員も運営面でご奉仕。尚、ごミサでは、新内さんが侍者のご奉仕をされました。南山教会からは、社会委員会、聖歌隊、要約筆記者の会の方々がご参加とご奉仕をされました。

4. ベトナム共同体との話し合いについて(信徒代表)  
2月23日のベトナムミサ後に主任司祭・信徒代表・オルガン管理委員会委員長・営繕委員長とベトナム共同体の代表川原氏・ティン氏で話し合いをした。聖堂2階席の利用について、それぞれの活動時間を守ることに、電気容量に気をつけること、物品の保管場所などを確認した。これは、他団体が利用するときにも知っておいてほしいことから、覚書を作成して事務所に置き、聖堂2階席の利用者に周知することとする(審議・相談事項1参照)。

5. 教会の設備について(営繕委員会)  
敷地内駐車場の駐車違反防止対策について、駐車違反防止の看板を作成中で、作成後設置します。  
・マリア館屋上出口自動ドアについて、自動ドアの鍵がかかりにくい状態である為、油の塗布、ねじ締めを行いました。  
・大聖堂のミサ進行係の席と聖堂後部に懐中電灯を設置しました。ご確認ください。

6. 75周年記念誌に信徒の顔写真を掲載することについて(75周年記念誌編集委員長)  
75周年記念誌に信徒の顔写真を掲載しようと考えている。掲載を希望する信徒から写真を電子メールの添付ファイルで送ってもらい、氏名は記載せず顔写真だけをまとめて紙を聖堂玄関に置き、各自で送ってもらうようにする。首から上の顔、背景無地。

7. 南山教会の出来事写真の募集について(75周年記念誌編集委員長)  
以下の依頼を教会のお知らせに入れる(3月8日・4月20日)  
「件名:75周年記念誌用の写真募集 内容:75周年記念誌用に写真を募集します。主に2000年から2025年の南山教会の出来事を写した写真でお薦めのものがあれば、そのデータをメールに添

付して、以下のアドレスにお送りください。

noribumi1963@outlook.com

掲載するかどうかは編集委員会で判断します。せつかくお送りいただいても掲載されない場合があることを予めご承知下さい。」

## その他

典礼委員会より、昨日の典礼委員会にて献金について話し合いを行いました。タイミンングによっては複数の献金箱が並んでしまうので、一度に2種類までとすることとしました。物価上昇等もあり経済的に苦しい時期なのと、複数置くと分散してしまうため、ミサ献金箱以外は一つだけ置くのが良いです。献金の仕方については、コロナの影響で献金箱方式にしておりませんが、コロナ前に戻す方針の中で回覧式に戻すかは、それぞれの意見がありますので新年度の5月の評議員会で司祭団と改めて協議することとします。戻す事にこだわらず、どの方式が祈るのに適しているかも大切です。今の方式も良いという意見も出ました。

## 審議・相談事項

1. 大聖堂2階席利用時の覚書について(信徒代表)

覚書を作成した。事務所に提出した活動時間を守ることで、電気の使用量は2階全体で30A未満にな

るように気をつけること、物品の保管場所は原則マリア館倉庫とすることを盛り込んだ。

2階席に上がるときは、先に誰かいたら必ず挨拶をしてください。また汚したりした場合は現状復帰をしていただく旨を追加します。

## 2. ご復活のパーティーについて

### (信徒代表、ヨセフ会、マリア会)

今年度と同様のBBQを行うことを想定し、準備を進める。来年度は、クリスマスパーティーも午前10時ミサ後に持ち寄り復活させてはどうか。

今年の復活ミサ後のBBQに関しては、パウロ主任司祭への感謝を込めて行います。

クリスマスパーティーについては継続協議とします。

## 3. 来年度の評議員について

### (信徒代表)

今年度の名簿を修正する形で来年度の評議員の確認を行った。

## 4. その他

### 各会報告

#### ○要約筆記者の会

3月22日(土) 要約筆記付ミサはお休みします。

#### ○マリア会

夏の熱中症対策(水分補給) 昨年の夏は厳しい暑さが続きましたので9月6日から11月17日まで冷えた水と麦茶を準備しました。20

25年3月1日時点で、天然水10本、イロハス1本、麦茶2本残っています。

2月7日(金) マリア会終了後、パウロ神父様からロザリオ作りを教えていただき、皆で作りました。手作りのロザリオで祈るたびに幸せです。

## 2月16日、堅信式ミサ後に松浦司

教様と受堅者13名とその関係者の皆様で分かち合いを行いました。

教会からは証書と記念品と花がご贈られて、とても幸せそうでした。ヨセフ会には、会場準備を行っていただきました。マリア会は、軽食と飲み物の準備をさせていただき、堅信の恵みを受けた日の事を思い出してました。

2025年度役員  
会長(6班)梅村恵子さん、(6班)副会長 茨木朋子さん、(6班)信徒 川西通子さん、(4班)平子由美子さん(継続)

## ○ヨセフ会

### 2025年度役員

会長 増子仁、副会長 森直樹、信徒使徒協評議会 小浦達也、城東ブロック宣教司牧評議会 松田征雄、バザー委員会 成井元太、バザー副委員 松田信治

## ○典礼委員会

3月5日(水) 灰の水曜日7時、10時、19時ミサがあります。

大斎・小斎を守る日です。この日から四旬節が始まります。3月9日(日) 四旬節第一主日

10時のミサで洗礼志願式があります。9時20分からリハーサル3月15日(土)、16日(日) 四旬節黙想会、共同回心式

## 3月19日(水) 聖ヨセフの祭日7

時、19時  
3月25日(火) 神のお告げの祭日、19時のみ

## ○中高生会

3月9日中高生会の集い  
3月16日終業式、ボーリング

## ○教会学校

2月23日聖年の教区指定巡礼教会である布池教会へ巡礼。

## ○財務委員会

3月末日までに各会の活動費の清算をお願いします。

\*菊地枢機卿様のお祝いのため、霊的花束と共に皆様からお預かりしました献金に教会の寄付を含めて30万円をお贈りしました。

## 終わりの祈り

次回 4月6日

次回 4月6日



「教皇フランシスコのための祈り」  
 アメリカのイエズス会員、  
 ジェームズ・マーティン神父に  
 よる

愛の神よ、  
 ひとりのイエズス会員として、  
 司祭として、大司教として、枢  
 機卿として、  
 そして今や教皇として、あなた  
 に仕えてきた、  
 あなたのしもべフランシスコを  
 顧みてください。  
 彼は誰よりも誠実なキリスト者  
 としてあなたに仕え、  
 愛と、憐れみと、いつくしみを  
 分かち合っていました。  
 それは、あなたの子（イエス）  
 が出会ったすべての人、  
 特に貧しい人や苦しむ人に対し  
 て示したものでした。  
 （教皇）フランシスコがこの新  
 たな病に直面している今、  
 彼を癒すために働く医師や看護  
 師を助けてください。  
 彼がどんな痛みにも穏やかに耐  
 えることができ、  
 早く回復できるように助けてく  
 ださい。

あなたの聖なる御名によって。  
 アーメン

## 信者の消息

### 受洗

おめでとうございます

ANNA NGUYEN NGOC GIA HAN  
 PHAOLO NGUYEN MINH KY  
 MATTHEU NGUYEN NHAT TAO

マリア会 ロザリオ作り



### 結婚

□お幸せに□

MATTHEU NGUYEN NHAT TAO □  
 TERESA DANG THI MY HAO



## 2025年3月 - 4月行事予定表

|    | 教会典礼暦                                                                           | 南山教会行事                                                          | 各会活動                                                                                                                                        | 教区行事・その他                                                                                                   |
|----|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3月 | <b>聖ヨゼフの月</b><br>5(水)灰の水曜日(大齋<br>□小齋)<br>9(日)四旬節第一主日<br>19(水)聖ヨゼフ<br>25(火)神のお告げ | 5(水)灰の水曜日ミサ<br>(7:00、10:00、19:00)<br>8(土)9(日)共同回心式<br>9(日)洗礼志願式 | 1(土)典礼委員会<br>2(日)小教区宣教司牧評議会<br>14(金)マリア会例会(懇談会)<br>16(日)ヨセフ会班長会・エマ<br>オの会<br>教会学校卒業式・終業<br>式・中高生会卒業式・<br>終業式<br>22(土)子ども部屋<br>22(土)要約筆記付きミサ | 2(日)城東ブロック会議<br>5(水)~四旬節愛の献金<br>(四旬節中)<br>15(土)レジオマリエ<br>名古屋クリア<br>20(木)司教座聖堂献<br>堂記念日<br>20(木)終身助祭叙階<br>式 |
| 4月 | 20(日)復活の主日<br>27(日)神のいつくしみ<br>の主日                                               | 新年度のため未定                                                        | 新年度のため未定                                                                                                                                    | 16(木)司祭・修道者<br>金銀祝の祝い<br>聖香油ミサ<br>26(土)レジオマリエ<br>名古屋クリア                                                    |